広報 らくじゅ

— 第 18 号 —

発行：社会福祉法人楽寿会
〒421-2115 静岡県静岡市葵区与左衛門新田 74-6
TEL (054)296-1111 (代表) ／ FAX (054)296-1113
URL　http://www.rakuju.or.jp

楽寿の園高齢者総合福祉エリア

楽寿会作品展が盛大に行われました。

色とりどりの素晴らしい作品が並びました！

作業療法士による作品作り体験コーナー

地域交流の場として賑わう会場

作品の販売コーナー

～ 一日の楽しみから 生涯に続く 生きがいづくり ～

毎年行われている「第 9 回 楽寿会作品展」が平成28年11月 2 日から 4 日間行われました。 3 日の文化の日には、作品展示に加え作業療法士による体験や販売コーナー・楽寿の園茶道部による呈茶コーナー等も設けられ、多くの地域の方にご来場いただきました。楽寿会ではご利用者が生きいきと張りのある生活を送っていただけるように、様々なリレリエーションを実施しています。その一つである作品づくりは、手指や脳活性のリハビリとして、またご利用者同士協力して作品を作り上げることによる達成感や自尊心の向上などに効果があります。作品展示では、楽寿の園高齢者総合福祉エリア内の18事業所中10事業所のご利用者が作品を出展しました。エネルギーあふれる見事な作品を大勢の方に披露できることは、ご利用者のさらなる励みと生きがいにつながります。

さらなる発信

特集

将来の課題のための日・オーストリア委員会視察

～世界に魅せる施設づくりを目指して～

平成29年７月14日および15日にかけて「将来の課題のための日・オーストリア委員会」第21回会合が静岡市において開催されました。これに先だち、オーストリア委員会より先進国でも長寿命国である日本での高齢者福祉の現状と健康寿命の延伸に係る課題、今後の対応・解決策の模索のため高齢者福祉施設の見学要望があり、静岡市より依頼を受け13日にオーストリア委員会委員７名を楽寿の園高齢者総合福祉エリアにてお迎えしました。

日本、世界の人々と共に…

手探りで積み重ねた施設運営のノウハウ

楽寿会では、創設以来日本全国から外国にわたり大変多くの視察・見学者をお迎えしてきました。1975年（昭和50年）創設当時は、高齢者施設の数も大変少なく、“高齢者福祉とは何か”もあまり議論されていない時代にありました。こうした中、楽寿会は法人の理念にもなっている「優しさの限りを尽くして この場所を真の楽園とせん」の想いを頼りに、冒険とも思われる新しい事業の決断を繰り返し、手探りながらも行政や関係団体、地域の方々のご理解とご支援のもと様々な施設運営の経験を積み重ねていました。当時には珍しい寝たきりの高齢者へのリハビリテーションや認知症の周辺症状緩和へのアプローチ、家族支援などは報道各社にも取り上げられ、先駆的な取り組みとして講演依頼があり全国を飛び回り、見学者の受け入れも積極的に行っていました。特に、全国第１号の認知症デイサービスをはじめ、介護予防を軸とした在宅福祉の延長としての住まいである全国第１号のケアハウス設立時には、毎日大型バスが並び大勢の見学者が訪れその数は約３万人にものぼりました。

連日大型バスが並んだ

1991年（平成３年）には皇太子殿下の行啓を受け、職員はもちろんご入所者にとっても感無量の瞬間として心に刻み、一層の努力を誓いました。こうした高齢者福祉の増進にかかる実践を通し、社会福祉法人としての使命や存在意義を今日まで発信してきました。

世界の人々と共に高齢者福祉の在り方を見つめる

我が国の高齢化が急激に進む中、“高齢者介護”は避けることのできない問題として国民の関心事となりました。そして、2000年（平成12年）４月に介護保険制度が誕生し、高齢者福祉は大きな変革期を迎えました。制度設立前には、ドイツを参考にした公的保険制度である介護保険の制度化に向け、社会福祉施設においても鋭意取り組みが進められていました。

世界９カ国　42都道府県

楽寿の園高齢者総合福祉エリア
視察・見学受け入れ状況

医療技術が進んだことで、世界においても高齢化対策は深刻な課題である中、日本は、世界でもトップレベルの長寿国であり、この日本での大改革においては世界中からも注目されました。楽寿会においては、在宅介護支援センター（現在の調整機関は居宅介護支援センター）の調整により在宅サービスを組み合わせたパッケージ化（現在のケアプラン）を全国に先駆けて開発し、介護保険制度の受け皿となる「新介護システム」を有馬良建理事長（元静岡福祉大学教授）がすでに確立しており、先行実践をしていたことから、世界からも関係者が視察に訪れました。世界の共通課題である高齢者福祉について情報交換をし、共に理解を深め友好関係を築けたことは、大変有意義なことでした。

スウェーデンのスンドストレム氏と共に

国際社会福祉会議に出席したメンバーと

研修を終えたスリランカ研修生

ロスキレ市長・クリスチャンセン氏と友好の握手

韓国福祉大学の学生たちと

中国上海市高齢化対策プロジェクトチームと

オーストリア委員会をお迎えして

この度、オーストリア委員会委員計７名を楽寿の園高齢者総合福祉エリアにお迎えしました。今回の視察は、委員のバルバラ・シュヴァルツ大臣より要望が出たもので、オーストリアの健康寿命は世界19位であり、世界１位の長寿国である日本における高齢者福祉の現状と、医療・高齢介護等の関連施設が一体となっている施設の見学を希望されたため、企画がなされたもので、当日は静岡市の小長谷副市長をはじめ関係課の方が来園されました。

到着後、裏千家淡交会静岡支部の方のご協力を得て、楽寿会茶道部員とともにエントランスホールにて、ウェルカム呈茶でおもてなしを致しました。

オーストリア駐日大使より有馬理事長に両国友好のバッジが送られました

オーストリア委員会構成メンバー

- ヴォルフガング・マツァール 氏
  ウィーン大学教授（オーストリア側委員長）
- バルバラ・シュヴァルツ氏
  ニーダーエースタライヒ州 社会・教育・家族省大臣
- フーベルト・ハイッス 氏
  駐日オーストリア大使
- シュテファン・シマン
  オーストリア経済研究所研究員

ほかオーストリア関係者

エリア内の概要説明を行う有馬良建理事長

地域包括支援センターにて地域包括ケアシステムの概要説明を行う

静岡雙葉学園母の会が作成したカッティングアートの前で

視察にあたり静岡市より静岡市の高齢者福祉施策について、有馬良建理事長より楽寿の園エリア内の概要説明を各々行いました。その後、デイサービスセンター・グループホーム・第3美和の家（認知症対応型通所介護）・ケアハウス・コミュニティホール・老人保健施設・地域包括支援センター・居宅介護支援センター・特別養護老人ホーム・楽寿の園診療所を視察されました。ご利用者が地域の中で生きいきと生活を送っている姿をご覧になり、法人の名前どおりここは「楽園」で、ご利用者の笑顔がとても印象的であると大変喜ばれ、とても和やかな雰囲気で視察が行われました。

最後に設けた質疑応答等の場でバルバラ大臣は、楽寿会のおもてなしに深く感謝され、利用者はもちろん、その家族、職員、地域にまで行き届いた親切心に触れ、深く感銘を受けたと高い評価をいただきました。バルバラ大臣は、高齢者介護においてオーストリアでも日本でも共通していることは、慈愛の精神であると話し、有馬良建理事長と両国の益々の友好と発展を誓い合いました。この度のオーストリア視察団をお迎えするにあたり、職員一丸となり最高のおもてなしを模索しました。相手の立場になり広い視野と英知をもって誠心誠意取り組む態度こそが、良い介護につながり、今求められているグローバルな人材に必要な資質でもあります。

今後も、さらなる高齢福祉の発展のため、確かな実行力と情報発信、そして地域への感謝とともに、社会福祉法人としての使命を果たして参ります。

エントランスにてウェルカム呈茶

デイサービスセンターでの視察風景

老人保健施設での視察風景

長寿を象徴する松の盆栽

居宅介護支援センターでの視察風景

多様な食事形態について説明を行う

楽寿の園診療所の視察風景

テレビ局よりインタビューを受けるバルバラ大臣

視察を終えて挨拶をする有馬良建理事長

TOPIX

認知症家族のための介護相談会開催

認知症家族のための介護相談会

静岡市より委託を受け「認知症家族のための介護相談会」を２月21日に特養会議室にて実施いたしました。高度な介護技術と認知症ケアに見識がある職員２名が担当し、認知症に対する正しい知識や介護方法のアドバイス、ストレス軽減法などについて相談を受けました。

美和桜まつりで甘酒を出店

美和桜まつりにて甘酒の出店

２月26日に、地域住民で構成されている「美和桜を育てる会」主催で美和自治会連合会後援の美和桜まつりに楽寿会もテントを張り甘酒の出店を致しました。当日は多くの方が訪れ大盛況でした。

運営推進会議の実施

活発な意見交換がなされます

地域密着型サービス事業において、運営推進会議を実施しました。自治会連合会会長様、ご利用者様、ご家族代表、地域包括支援センターの職員が参加し、サービス内容を知っていただき、地域に開かれた質の高い施設づくりを目指します。

第２・第３美和の家移転新築工事開始

建設が進むデイサービスセンター

認知症対応型通所介護第２・第３美和の家の老朽化に伴い、楽寿の園高齢者総合福祉エリア隣地に移転新築工事を開始いたしました。全国トップレベルの規模の広々とした認知症対応型のデイサービスです。平成30年１月完成予定。

認知症カフェ「お気軽カフェらくじゅ」がオープン

お気軽カフェらくじゅ

毎月１回、ケアハウスサンライフらくじゅの１階にて、静岡市認知症カフェ認証事業「お気軽カフェらくじゅ」を開催しています。認知症のご本人やその家族、認知症についてご興味のある地域の方など、毎回大勢の方が集まっています。

職員を募集しています!!

やりがいを求め
年配の方・男性の方も
大活躍。

資格がなくても楽寿なら大丈夫!!

資格取得支援
プロジェクトが
バックアップします!!

介護職　看護師　介護支援専門員

お気軽にご相談・お問合わせください。　担当：総務課 TEL：054-296-1111

介護老人福祉施設　楽 寿 の 園

楽寿の園は、高齢者総合福祉エリアの基幹施設であり、アカデミックで診療所を併設した最新鋭の高機能・高規格特養です。楽寿の園では、高齢者への尊厳を理念とし、優しさの限りを尽くして、お一人おひとりの自己実現の為、個別の施設サービス計画に基づく最善の介護福祉サービスの提供に努めています。ご利用者の皆様にはゆったりとした癒しの空間で、心豊かな生活をお送りいただき、高い専門性をもった介護、医療、福祉のスペシャリストがご利用者様の自立のお手伝いをいたします。安倍川のほとりの豊かな自然を眺めながら、和やかなひとときをお過ごしいただいています。

本館中央ホール

楽寿の園診療所に設置されているCT

レクリエーションの取り組み

当施設では、理学療法士·作業療法士の機能訓練士をはじめ、音楽療法士、看護師、介護福祉士、精神保健福祉士、認知症ケア専門士などの専門職を多く配置し、専門的な見地を取り入れたレクリエーションを実施しています。

Ⅰ.楽しみとしてのレクリエーション

楽しみを持って生活することは、人生の豊かさにつながります。当施設では、明るく楽しみのある生活をお過ごしいただくためのレクリエーションを人権擁護実践の一つとして捉え、数多くのレクリエーションを取り入れています。フロア内では、お一人おひとりの「個」を大切にしながら行う個別レクリエーション（塗り絵やパズルなど）、他者との交流を楽しむ集団レクリエーション（輪投げやボーリングなど）が行われます。また、コミュニティホール楽寿で行われる慰問（民謡、舞踊、合唱や歌謡コンサートなど）では、本格的なステージが繰り広げられ感動を味わうことができます。

レクリエーションの様子

Ⅱ．自立支援（リハビリ）としてのレクリエーション

レクリエーションを通して、普段の生活から楽しみながら身体を動かす機会を設け、筋力やバランス能力の維持にも役立てています。例えば、レクリエーションで人気の高いボーリングでは、ボールを目で見て距離を測り、手を使って投げるなど、身体を一体に動かすことができ、身体機能の維持や向上を図ることができます。ご利用者個々に合わせた活動内容やグループで行うため無理なく参加することができます。ボーリングのピンもご利用者が工作として作り上げたものを使用するため、達成感や満足感は大きなものになります。

Ⅲ．認知症状緩和のためのレクリエーション

認知症の症状が、レクリエーションで緩和されることが知られ始めています。ご利用者の交流によるコミュニケーションの向上、道具の使い方や色・形の識別などによる認知力の向上、助け合って競争するゲームでは、協調性を、ボール投げや積み木は、集中力向上に効果があります。その他、紙風船を叩いたり、新聞破りは、爽快感を味わうことができます。このような脳への刺激は認知症の予防や症状の進行を遅らせるなどの働きがあると言われています。当施設では、認知症ケア専門士を配置し、認定音楽療法士と連携をとり、音楽療法や、回想法などにも力をいれており、認知症による不安感や、緊張感、イライラなどの心理、行動症状（BPSD）の緩和を目指しています。

認知症ケア専門士による状態観察

利用料金について

当施設の介護保険適用部分のサービスについて、ご利用者様に負担して頂く利用料金は、国の制度に基づき原則として「基本料金の 1 割または 2 割」、「当施設が定めた食費及び居住費」の負担額となっています。その他、特別な食事の提供に要する費用、理美容代、その他の日常生活において個別に必要とされるものの実費（日常生活費）は各自でご負担頂きます。例えば、要介護 3 の方が介護老人福祉施設楽寿の園に入所した場合、 1 ヶ月の自己負担の目安はおよそ次のとおりです。　※この他に日常生活費（実費）が必要です。

◎多床室を利用した場合

（単位：円）

利用者負担段階	施設サービス費（1 割）	施設サービス費（2割）	居　住　費	食　　費	合計（1 割）	合計（2割）
1	15,000		0	10,000	25,000	
2	25,397		11,300	12,000	48,697	
3	25,397		11,300	20,000	56,697	
4	25,397	50,794	25,550	47,500	98,447	123,844

◎従来型個室を利用した場合

（単位：円）

利用者負担段階	施設サービス費（1 割）	施設サービス費（2割）	居　住　費	食　　費	合計（1 割）	合計（2割）
1	15,000		10,000	10,000	35,000	
2	25,397		13,000	12,000	50,397	
3	25,397		25,000	20,000	70,397	
4	25,397	50,794	35,000	47,500	107,897	133,294

◎ユニット型個室を利用した場合

（単位：円）

利用者負担段階	施設サービス費（1 割）	施設サービス費（2割）	居　住　費	食　　費	合計（1 割）	合計（2割）
1	15,000		25,000	10,000	50,000	
2	28,808		25,000	12,000	65,808	
3	28,808		40,000	20,000	88,808	
4	28,808	57,615	60,000	47,500	136,308	165,115

※所得の低い方については、利用者負担段階により「負担限度額」が適用されますので、食費と居住費が軽減されます。また更に、「社会福祉法人の減免」の対象者として認定されると、料金の一部を楽寿の園と市町村で負担しますので、どなたでも安心してご利用いただけます。

※看取り介護を行った場合には、死亡日 1,280 単位、死亡日の前日、前々日 680 単位、死亡日以前 4 ～ 30 日は、1 日につき 144 単位（1 単位 10.27 円）が加算されます。

※看取り介護のために、居室移動をした場合は、移動後の居室の居住費を負担していただきます。

短期入所生活介護（ショートステイ）

ご自宅でお年寄りの介護にあたるご家族様の介護疲れ等のご負担を少しでも軽減して頂く為に、短期間入所をしていただき、ご家族様に代わって介護いたします。ご希望やご不明な点につきましては、どうぞお気軽に楽寿の園までお問い合わせください。ご利用者のご家族様より、ショートステイ及びデイサービスをご利用いただいての感想を頂戴いたしましたので、ご紹介させていただきます。

『ご家族様の声』（サービス利用で充実した毎日）

もうすぐ94歳になる父を、昨年の11月から自宅で介護をしています。
今まで妹が父の介護をしていましたが、父の入院を機に退院後の介護を妹から私に交代しました。普段は、日中は楽寿の園デイサービス第 3 美和の家に通っています。
楽寿の園のショートステイを利用し始めたのは今年の 3 月からです。今では、一泊 2 日と二泊 3 日を組み合わせて月に10日ほど利用しています。ショートステイを利用してみて、良かったなと思う点は、日常の介護からいっとき離れることで、肩の荷が下りるというか気持ちが楽になることです。これは、自宅で介護をしている家族にとって、とても大事なことだと思います。次から、また頑張れます。また、父を介護するようになったことで、できなくなった子供や孫たちとの夜の外食など、朝晩気にせず楽しみの時間がもてるようになりました。ショートステイ中には、音楽療法や専門スタッフによるリハビリをしていただけることも有難いことの一つです。また、何と言っても体調があまり良くないなと思い、心配しながら父をショートステイに送り出しても、しっかり元気になって帰ってきてくれること。看護師さんはじめ専門のスタッフの方々が親身になってケアして下さるおかげだと感謝しています。デイサービスとの連絡を密にして頂けることも楽寿ならではで有難いことです。ショートステイを利用するための特別な準備をする必要もなく、衣類などの洗濯物が出ないことも思いがけないサービスでとても助かります。
これからもよろしくお願いします。

内川　広美 様

月 2 回の理美容日に合わせて利用される方もいます

機能訓練士による個別リハビリも行っています

ケアハウスサンライフらくじゅ

平成２年全国第１号のモデル事業として創設されたケアハウスです。60歳以上の方で日々の生活に不安があり、様々な理由から炊事ができない程度の方が入居できます。サンライフらくじゅでは、プライバシーが守られた居住空間の中で、現在の生活を極力変えず、ご自身の時間を大切にしながら安心・安全な毎日を送っていただけます。

ーお元気な今だからこそ、将来を見据えて入居されるのに、ふさわしい住まいですー

サンライフらくじゅ独自の特色

- 入居一時金はありません。敷金30万円（夫婦の場合50万）※退居時返金あり
  食費・居住費等すべて含まれ、月々の利用料も約７万円～10万円程度で、経済的負担が少ないです。
- 楽寿の園高齢者総合福祉エリアの中に位置し、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される、地域包括ケアシステムに機能できるよう、個々にあった在宅福祉サービスや医療を必要に応じて適切に、ご利用頂けます。
- 防災に力を入れ災害時においても、安心してお住まい頂ける環境を維持する努力をしています。
- 二人部屋のご用意があります。ご夫婦はもとより、兄弟姉妹、ご友人同士でも入居が可能です。

日々の生活を楽しく生きがいをもって

新緑の中で玉露の里へドライブ

外食レクリエーションの様子

ご入居者の皆様には一年を通して、変化ある楽しい生活を送っていただけるよう、様々な行事を企画し大変喜ばれています。

介護予防のためのリハビリ

日頃の介護予防の成果を発表する
楽寿の園大運動会

地域の美和桜まつりへ参加（地域交流）

日々の安心と安全のために

入居者参加の合同防災訓練

真剣に取り組む月1回の防災訓練

生活相談員による個別相談

施設長、副施設長、生活相談員、ケアマネジャー、主任ヘルパー、看護師、管理栄養士などの専門スタッフが連携しサービスの質の向上を図ります。

介護老人保健施設　楽寿

介護老人保健施設楽寿は、病状安定期にある方、認知症で家庭での介護が難しい方等を対象に、医師による健康管理、リハビリテーション、レクリエーション、食事・入浴等の看護介護サービスなど、家庭での生活を可能にする為の各種サービスを提供します。楽寿の園高齢者総合福祉エリアの各施設、地域の行政、医療機関等との密接な連携により、ご利用者の状態に沿った適切な介護サービスの調整を図ります。また、ご本人様やご家族様の相談に応じ、様々な情報を提供するとともに、退所後の万全なアフターケア体制を整えています。

利用料金について

例えば…　要介護３の方が介護老人保健施設楽寿に入所した場合、１ヶ月の自己負担の目安は国の制度に基づきおよそ次のとおりです。　※この他、日常生活費（実費）が必要です。

◎多床室を利用した場合

（単位：円）

利用者負担段階	施設サービス費（1割）	施設サービス費（2割）	居住費	食費	合計（1割）	合計（2割）
2	28,560		11,000	12,000	51,560	
3	28,560		11,000	20,000	59,560	
4	28,560	57,120	11,000	48,000	87,560	116,120

◎従来型個室を利用した場合

（単位：円）

利用者負担段階	施設サービス費（1割）	施設サービス費（2割）	居住費	食費	合計（1割）	合計（2割）
2	26,220		15,000	12,000	53,220	
3	26,220		40,000	20,000	86,220	
4	26,220	52,440	50,000	48,000	124,220	150,440

※介護保険自己負担分には、基本サービス料、夜勤職員配置加算、サービス提供体制加算、栄養マネジメント加算が含まれています。

※所得の低い方については、利用者負担段階に応じた「負担限度額」が定められており、居住費・食事の負担が軽減されます。

※二人部屋、個室を希望される場合、室料をお支払い頂きます。

※短期集中リハビリ実施加算
１日につき　240単位
（入所日から起算して３ケ月以内）

通所リハビリテーション

◆生き活きとした在宅生活が維持できるよう支援しています

通所リハビリテーション（定員40名）では、施設で送迎を行い、居宅で介護を必要とする方が出来るだけ能力に応じた自立した日常生活が営めるように、ご利用者お一人おひとりの状態や目標に合わせたサービスを行います。理学療法士などの機能訓練士による個別リハビリテーションでは、管理医師の指示のもと、ご利用者の身体機能に合わせたリハビリテーションプログラムを作成し、実施しています。

専門のリハビリ職員がお一人おひとりの身体状況に合ったプログラムを作成し、取り組んでいただいております。

☆☆☆今回、通所リハビリテーションをご利用いただいているご利用者より感想を頂きましたので、ご紹介させていただきます。

『ご利用者の声』

小長井　昌子 様

楽寿に通って４年が経ちます。週４日通っていますが、送り迎えもしてくれて、職員さんがみんな優しく、娘も毎週買い物をして助けてくれているおかげで楽しく通えています。リハビリでは肩と下肢の運動や筋力訓練をし、痛みのある所を温めています。お風呂に入ったり、周りの人とお話ししたり、ゲームに参加したりもします。特に間違い探しが大好きで、頭の体操の為にもやっています。膝が悪く、変形してしまっているので歩くと痛むのですが、なるべく歩けるように、これからもリハビリを頑張りたいと思っています。

グループホーム　らくじゅの家

グループホーム　らくじゅの家（２F）

秋を感じながらの干し柿作り。自家製のいちごジャムや、らっきょなどが食卓に並びます。

「らくじゅの家」の定員は６名です。一つの食卓を囲み、温かく和やかな家庭的な雰囲気を大切にしています。能力に応じた役割や趣味を活かした余暇を過ごし、ご家族、知人、地域との交流を大切にしながら、ご家庭との生活環境の変化を最小限に、共同生活を送ることが出来るよう支援しています。

食事の支度や洗濯物の片付け、おやつ作り等の日常の家事、季節毎に行う梅干しや干し柿、味噌等の保存食作りなど、ご利用者の経験や能力を発揮して頂く場面が多くあります。買物やドライブ、ぶどう狩り、地域行事への参加もご利用者の楽しみです。また、音楽療法士による音楽療法は、機能訓練とともにご利用者の癒しの時間となっています。ご利用者の尊厳を守り、お一人おひとりが安心と笑顔の中で暮らせるよう努めています。

訪問介護・居宅介護・同行援護

ホームヘルパーは、笑顔と温かい言葉かけでご利用者の家庭に暮らしの風を運びます。生き活きとその方らしい生活が続けられるよう、一緒に行ない工夫する援助を目指します。介護保険では、食事･入浴･排泄･おむつ交換･更衣･外出援助等の身体介護と掃除･洗濯･調理･買い物代行等の生活援助を行います。障害者福祉サービスの居宅介護サービス（身体介護・家事援助・移動支援）や視覚障害者の同行援護サービス（外出援助）も実施しています。信頼関係を築き、ご利用者の気持ちに寄り添った援助を行なうよう努めます。

訪問介護の一場面。自立支援としてご利用者と共に掃除等家事援助を行います。

楽寿の園　デイサービスセンター

楽寿の園　デイサービスセンター

デイサービスセンター（定員30名）では、可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることが出来る様、送迎、食事、入浴などの日常生活上の支援、生活機能向上のために理学療法士等による機能訓練や歯科衛生士による口腔機能向上サービスなどを提供します。レクリエーション活動等では、ご利用者同士の楽しい交流の場となるよう創意工夫し、孤独感の解消や心身機能回復を図ります。また日中にサービスを利用して頂くことでご家族の介護負担の軽減にもつながります。

楽しく身体を動かして心身機能の回復を目指します。

第２美和の家・第３美和の家

第２・第３美和の家は、地域密着型サービスの認知症対応型通所介護施設です。
地域密着型サービスは、認知症の方が住み慣れた地域で生活ができるよう、地域の実情に合わせて、より細やかで、柔軟なサービスを提供することができます。

通常のデイサービスとは違い、少人数ですので他の方に影響されにくく、職員が寄り添いながら、ご本人のペースでゆっくりとおだやかにお過ごしいただけることができます。

入浴や排泄の介助、管理栄養士によるバランスの取れた献立の食事提供はもちろんのこと、日常生活動作の向上や認知症ケアに効果のある機能訓練や作業療法をリハビリの専門スタッフが提供するなど、認知症の方専門の手厚いサービスを提供します。

第２美和の家

第２美和の家は定員10名で、主に活動的な方を対象としています。ご利用者同士の交流や会話を大切にし、楽しさを取り入れたレクリエーションを実施する事で、「笑って楽しんで帰って頂く」ように職員一同励んでおります。

ナイスショット‼
楽しい輪投げのレクリエーション。
輪投げの達人が大勢います。

第３美和の家

第３美和の家は定員12名です。歩行の出来る方、車椅子の方など、いろいろな身体状態の方々が利用されています。機械浴（寝浴）が有り、寝たきりの方も安心して入浴をして頂く事が出来ます。また、レクリエーションや日常生活のリハビリも積極的に行い、ご利用者の残存機能の維持回復にも力を入れて取り組んでいます。

第３美和の家（１F）

機械浴（寝浴）を使用することで、お身体への負担が少なく寝たままの状態で入浴することが出来ます。

楽しいレクリエーションなどで心身の活性化、機能の維持向上を目指しています。

利用料金について

（単位：円）

要支援・要介護度	要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５
介護保険自己負担額（１割の場合）	810	897	927	1,020	1,112	1,203	1,296

※入浴、送迎を施設で行った場合の１日の利用料金です。
自己負担額に昼食代600円（おやつ代込み）が加算されます。
自己負担額２割の場合、半日のご利用の場合は利用料金が異なります。
詳しくはお問い合わせ下さい。
特養併設型の認知症対応型通所介護施設です。単独型事業所よりも料金が安くなっています。

足久保ケアサポートセンター　楽寿

デイサービスセンター　足久保らくじゅの家

地域密着型のデイサービスとして、認知症で在宅介護を受けている方を対象に、食事、入浴、個別機能訓練等のサービスを提供します。

また、園庭の散歩、頭や体を使ったレクリエーション、趣味を活かした編み物や染め物、季節に応じたおやつ作り等も実施しています。

住み慣れた場所で安心した時間を過ごして頂き、ご利用者お一人おひとりが笑顔に溢れ、生き生きとした毎日を送ることのできるデイサービスを目指しています。

足久保ケアサポートセンター　楽寿

園芸療法に積極的に取り組んでいます。収穫したじゃがいも等は皆さんで味わい楽しみます。

満開“美和桜”の前で

利用料金について

（単位：円）

要支援・要介護度	要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５
介護保険自己負担額（1割の場合）	925	1,022	1,054	1,157	1,260	1,363	1,466

※入浴、個別機能訓練、送迎を施設で行った場合の１日の利用料金です。
自己負担額に昼食代600円（おやつ代込み）が加算されます。
自己負担額２割の場合、半日のご利用の場合は利用料金が異なります。
詳しくはお問い合わせ下さい。

グループホーム　足久保らくじゅの家

定員９名のご利用者が家庭的な雰囲気の中、ご家族や地域の方に支えられ、ご自分の力を発揮しながら、職員と共に生き活きとした穏やかな毎日を過ごされています。

食事の支度や居室清掃・洗濯物畳み等日々の家事手伝い、梅干し作り･味噌作り･干し柿作り等の季節毎の活動､畑での野菜作り、ドライブや外食･買い物･ぶどう狩り等の多くの外出機会があり、ご利用者の思いを大切に心触れ合う毎日です。

地域行事にも積極的に参加し、良好な交流を図ることで住み慣れた地域で安心のできる暮らしを提供出来るよう努めています。

大塚ぶどう園でたわわに実った甘いぶどうに舌鼓を打ちました。

今でも現役、楽しいお料理づくり。

静岡市委託事業

運動器機能向上事業 しぞ～かでん伝体操教室

開催日の黄色い旗が目印です

誰でも簡単に体操ができます

綺麗な音色は心を癒します

運動器機能向上事業は、要介護認定を受けていない65歳以上の方を対象に行われる事業です。「自らの力で健康維持に取り組む」ことを目的に開催しています。「しぞ～かでん伝体操」を中心に、「口腔体操」「指体操」「豆知識」の基本プログラムに加え、楽寿会独自のプログラムを『理学療法士』『作業療法士』『管理栄養士』『音楽療法士』『精神保健福祉士』などの専門職が各々の専門性を活かした方法で展開し、皆様の心身の健康と社会参加のためのサポートをしています。会場は、足久保ケアサポートセンター１階です。

参加について

参加資格：65歳以上の被保険者のうち、
①要介護・要支援を受けていない方
②介護予防・日常生活支援総合事業における訪問型サービス等を受けていない方
③介護予防に関心があり運動が可能な方（一定の条件があります）

参 加 費：無料（作業活動では、材料費200円程度を徴収させて頂く場合があります。）

送　　迎：往復200円でご自宅まで送迎いたします。

楽寿の園福祉エリア居宅介護支援センター（ケアプラン作成機関）

居宅介護支援センター

相談風景

介護でお困りのご家庭に介護支援専門員（ケアマネジャー）が訪問等をして、ご利用者様、介護されるご家族のニーズを把握し、デイサービス・訪問介護・ショートステイ等の居宅サービス及び必要な保健医療サービス、福祉サービスを組み合わせ、ケアプランを作成。ご利用者、ご家族様が安心して在宅での生活を送れるよう総合的に支援をします。お気軽にお問合せ下さい。

静岡市葵区美和地域包括支援センター、静岡市葵区賤機地域包括支援センター

高齢者のみなさんが、住み慣れた地域でいつまでも安心して生活が出来るように、介護・福祉・医療・健康など様々な面から総合的に支えるための機関です。社会福祉士、主任ケアマネジャー、保健師または看護師、３職種がお互いに連携をとりながら、様々な相談に応じます。高齢者を支え、自分らしく生活するための権利を守るため、様々な相談に迅速に対応しておりますので、いつでもご相談ください。

地域包括支援センターの概要

	担当圏域	連絡先
静岡市葵区美和地域包括支援センター	足久保、美和、安倍口、井宮、井宮北	〒421-211 葵区与左衛門新田74-6（楽寿の園高齢者総合福祉エリア内） TEL:054-296-1100 ／ FAX:054-296-9355 ／ E-mail:houkatu_m@rakuju.or.jp
静岡市葵区賤機地域包括支援センター	梅ヶ島、大河内、玉川、松野、賤機北、賤機中、賤機南	〒421-0871 葵区昭府２丁目7-17（静岡市北部保健福祉センター前） TEL:054-251-7772 ／ FAX:054-296-7773 ／ E-mail:houkatu_s@rakuju.or.jp
□サービス提供時間：（月～金）8:30～17:30、（土）8:30～12:30　休日：日曜日、祝日、年末年始（12／31～1／3） ※休日および夜間については電話で対応いたします。（24時間連絡可能な体制をとっています）		

各センターの主な活動実績

◆静岡市葵区美和地域包括支援センター（受託法人：社会福祉法人楽寿会）

主な地域活動の実施状況	≪地域ケア会議の開催≫担当圏域の各地区の特性、ニーズ把握を目的に、地区の関係者と連携を図っています。 松富団地支援連携会議開催。（平成29年9月27日）安倍口団地支援連携会議開催。（平成29年11月予定） ≪山間地への個別訪問≫奥長島地区へ個別訪問し高齢者の実態把握を行う。 ≪高齢者及び一般住民に向けて交流会を開催≫ 足久保奥組地区の高齢者及び地域住民へ向け、介護予防の啓発と地域包括支援センターの説明を行う。（平成29年9月15日／栗島公民館／平成29年11月10日口長島公民館／平成29年11月24日奥長島公民館／平成30年1月26日谷沢公民館）
その他の地域活動への参加状況	・美和地区、北部地区の民生委員児童委員協議会定例会出席（隔月） ・足久保地区社会福祉協議会総会出席（平成29年4月） ・安倍口地区社会福祉協議会総会出席（平成29年5月） ・安倍口地区社協福祉協議会高齢者対策部会出席（平成29年6月） ・美和地区社会福祉推進協議会主催のふれあい活動に相談コーナーを開設。（平成29年6月） ・グループホームらくじゅの家、足久保らくじゅの家、地域密着型介護老人福祉施設楽寿の園、他、圏域内グループホーム、地域密着型通所介護等の運営推進会議に出席（随時） ・S型デイサービス参加（まつとみふれあいサロン、あべぐちサロン、西ケ谷サロン、内宮サロン、あしくぼふれあいサロン） ・各地区で実施している交流会やでん伝体操に参加。

◆静岡市葵区賤機地域包括支援センター（受託法人：社会福祉法人楽寿会）

主な地域活動の実施状況	≪鯨ヶ池出張相談会の開催≫ 鯨ヶ池老人福祉センターにて出張相談会を実施（平成29年4、6、10、12月）地域包括支援センターの紹介、介護保険や高齢者全般に関する相談対応。 ≪介護予防講座開催≫ ・圏域内のS型デイサービスにおける介護予防講座開催（随時） ・口坂本地区、口仙俣、奥仙俣地区介護予防講座開催（平成29年10月予定） ・梅ケ島地区介護予防講座開催（平成29年11月予定）
その他の地域活動への参加状況	・賤機地区、安倍地区の民生委員児童委員協議会定例会出席（隔月） ・松野学区自治会連合会総会出席（平成29年4月） ・玉川地区自治会連合会会議出席（平成29年8月） ・大河内地区社会福祉推進協議会出席（平成29年4月） ・賤機中学区社会福祉推進協議会役員会出席（平成29年4月） ・賤機北地域福祉推進協議会総会出席（平成29年5月） ・賤機南地区社会福祉推進協議会総会出席（平成29年5月） ・梅ケ島地区社会福祉推進協議会総会出席（平成29年6月） ・賤機南地区勉強会出席（平成29年8月） ・松野町内会会合出席（平成29年8月） ・圏域内のグループホーム運営推進会議出席（随時） ・健康交流会参加（随時）

◆北部地域全体（美和、賤機地域）での活動

鯨ケ池出張相談会	鯨ケ池老人福祉センターにて出張相談会を開催。 ・賤機地域包括支援センター（平成29年4月11日／平成29年6月8日／平成29年10月12日／平成29年12月12日） ・美和地域包括支援センター（平成29年7月14日／平成29年9月13日／平成30年1月17日／平成30年3月9日）

梅ヶ島高齢者生活福祉センターと静岡市こころの健康センターと共催し、こころとからだの健康講座を実施しました。

地区社会福祉推進協議会、自治会の方々と連携をし、交流会で介護予防のためのチェックリストを使用して、早期発見・早期対応を促す取り組みをしています。

よりよいサービスを提供するために　◇ 充実の職員研修 ◇

◆施設内職員研修・新人職員研修

職員教育委員会が中心となり、毎週、施設内職員研修を実施しています。全職員を対象に外部研修の伝達研修及び各種専門分野の研修を行い、処遇の向上、職員の資質向上と施設機能の充実や向上に努めています。また、外部講師を招いての講演や研修も随時行っています。

新入職員研修では、様々な分野の専門スタッフ、外部から招いた大学教授・講師の方々による専門性の高い新入職員研修を実施しています。

昭和大学講師　大谷佳子先生による講義
「対人援助とコミュニケーション」

◆資格取得支援プロジェクト

職員の専門職としての質の向上を図るために、一人でも多くの職員が資格を取得して、より質の高いサービスの提供に繋げることが出来るように支援しています。これまでに介護福祉士146名、介護支援専門員47名が合格しました。より多くの職員が合格できるように、資格取得支援プロジェクトのスタッフを中心に毎月勉強会やチェックテスト、模擬試験などを開催し受験に向けて活動しています。

有馬良建理事長の講義「高齢者虐待防止法について」

『知らず知らずの虐待』を予防するため、自己点検に活用しています。

有馬良建理事長（元静岡福祉大学教授）著「介護・看護職のための虐待防止チェックリスト～ケースアドボケイト実践～」（医歯薬出版）は、各虐待分野別の評価基準が示されています。専門性の欠如は虐待につながる恐れがあり、高齢者関係各法との整合性と一致した評価基準に照らし、評価・改善して、虐待の恐れのある不適切サービスを排除し、より良い適切なサービスが実践できるよう全職員がチェックリストを活用しています。

また、厚生労働省補助事業の「施設、事業所における高齢者虐待防止に関する調査研究事業」ワーキング委員会委員を務めた有馬良建理事長の「高齢者虐待防止法について」の講義も全職員が受講し、法令に基づく虐待防止に取り組んでいます。

充実した施設での生活

楽寿会では、年間を通じて様々な方々が慰問に訪れます。季節感を味わって頂く為、季節に応じた行事を開催しています。コミュニティホール楽寿にて行う全体行事、フロア毎に行う行事、様々なレクリエーションや外出を企画して、皆様に楽しんで頂いています。また、敬老週間では、敬老式典、敬老茶会、喫茶らくじゅなど様々な行事で敬老のお祝いをしました。

慰問・行事

西川晶の歌謡ショー。大勢の方がコミュニティホール楽寿に集まりました。
ご利用者の中には手拍子をされたり、口ずさまれたり、とても盛り上がりました。

8 月には、コミュニティホール楽寿で毎年恒例の夏祭りを開催しました。
盆踊りやヨーヨー、かき氷といった夏の風物詩をご利用者の皆様にご堪能頂きました。

秋晴れの空の下、楽寿の園大運動会が開催されました。大勢の方が参加され、赤組、白組に分かれての応援合戦、玉入れ、パン食い競争は、大盛況でした。

静岡県主催 ～ケアコン2017～

第6回 介護技術コンテスト 最優秀賞W受賞!!

ダブル W 受賞

～輝く楽寿会の伝統とたゆまない介護技術の研鑽～

静岡県主催の第６回介護技術コンテストが開催され、県内各地からプロの介護専門職が集まり、楽寿会からも５名の精鋭職員が競技に出場しました。その結果、勝山隆介さんと三森由希さんが第６回最優秀賞をW受賞しました。今後共、法人一丸となり、さらなるサービスの質の向上のため、介護技術の研鑽に励んでいきます。

介護コンテスト受賞歴　第１回　最優秀賞　土海裕子 さん　第２回　最優秀賞　増野容子 さん　第４回　最優秀賞　岡本拓洋 さん

コンテストでダブル受賞した職員が有馬良建理事長に結果を報告しました

勝山隆介さん、三森由希さんが受賞した最優秀賞トロフィー

ツインメッセで行われた第6回介護技術コンテスト

県健康福祉部長より表彰を受ける勝山隆介さん

権威ある静岡県主催「介護技術コンテスト」

勝山隆介さんの発表

県介護保険課長より表彰を受ける三森由希さん

三森由希さんの発表

ご利用（家族・介護者）の皆様へ

●ご入所希望の方	楽寿の園へ	TEL：054-296-1111
●在宅介護のご相談 ●居宅サービスご利用の方	地域包括センターへ	TEL：054-296-1100（美和） TEL：054-251-7772（賤機）
●ケアプラン作成希望の方	居宅介護支援センターへ	TEL：054-296-5555